



# 須田っ子 第8号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA



「高く!もっとな」 「交流ゲーム(須田小中児童生徒交流会)」から (2018.10.16)



◆ 暖昧だんじゅん...

右の説明で、二年生の子供達に絵を描いてもらいました。もちろん全員が様々な絵を描くことができました。曖昧だからこそ、自分なりに解釈をして絵を描いていました。

似たような場面は常にあります。先日の小中交流会では、紙のタワーを作るグループ活動がありました。複数の考えを整理し、他のグループの様子等も参考にしながらの試行錯誤が必要です。同じタワー(正解)



◆ 暖昧だんじゅん...

読まれた方は、何のことか?と思われたかと思います。これは、最近よく聞くプログラミング教育で使われるものです。ただ、これだけでは、コンピュータは絵を描くことができません。何故なら、大きさ・色・太さ・位置などの具体的な指示がない、つまり曖昧だからです。

- ・最初に「丸」を描きます
- ・次に三角を描きます
- ・それを大きな四角で包みます
- ・今度はその四角を丸で囲みます
- ・おしまいに、どこでもいいから、一つ線を引きます

◆ 暖昧だんじゅん...

読まれた方は、何のことか?と思われたかと思います。これは、最近よく聞くプログラミング教育で使われるものです。ただ、これだけでは、コンピュータは絵を描くことができません。何故なら、大きさ・色・太さ・位置などの具体的な指示がない、つまり曖昧だからです。

◆ 二重丸の板書も同じ!

授業でも同様の取組をしています。そのため、みんぞで解決することを「めあて◎」にして、必ず黒板に書きます。これと結び付けながら、子供の考えを整理(視覚化・共有化・焦点化)して、「なるほど!」につなげます。

さて、来月はフリー参観日があります。様々な教科学習で、お子さんの「絵を描く」姿をご覧いただけます。私にも、初心に返って授業をさせていただきます。お待ちしております。

◆ 受け止める指導

先週の新聞記事に、いじめの認知件数が増加したことは、きめ細やかな児童観察の成果というものがありません。このことは、もう一歩進めて、きめ細やかな「目線」は、いじめとして認知される前にこそ注がれることが重要だと思います。そのために、曖昧のままにせず、指導に生かすことを大切にしています。一言で言うと、受け止める指導です。

例えば、普段の学校生活で気になった際には、「どんな困り感を持ち、それを解消するためにできることはないか」などを、一つ一つ整理しながら指導をしています。これが「須田小アンテナ」です。

◆ 受け止める指導

先週の新聞記事に、いじめの認知件数が増加したことは、きめ細やかな児童観察の成果というものがありません。このことは、もう一歩進めて、きめ細やかな「目線」は、いじめとして認知される前にこそ注がれることが重要だと思います。そのために、曖昧のままにせず、指導に生かすことを大切にしています。一言で言うと、受け止める指導です。



# 須田小 イイね!

須田小学校のグラウンドにも、爽やかな風とともに、季節の移り変わりの足音が近づいてきました。学習に運動に充実する2学期も2ヶ月が過ぎました。全校マラソン大会、文化祭などのビッグイベントも無事終了しました。これからも、一人一人の子供の心に、ピカピカ光る達成感という金メダルが掛けられるよう指導してまいります。



10/3(水) 全校マラソン大会  
体力向上を目指し、体育授業や業間運動「がんばりタイム」で取り組んできました。青空の下で実施することができました。



10/10(水) ひまわり遊び  
ひまわり遊び(異学年交流活動)がありました。サッカー、ドッジボール、「全校舎内かくれんぼ」等、須田小学校が「昭和の空き地」のように、子供たちの群れ遊びの場となっていました。



10/15(月) 1・2年 収穫の秋~甘藷  
校舎裏の「1・2年芋畑」で、甘藷(さつまいも)の収穫をしました。土の中から宝物のように掘り出される度に、歓声が沸き上がる収穫作業になりました。



10/16(火) 須田小中交流会  
いじめを見逃さない、各々の違いを生かす人間関係づくりのための取組を振り返る場を持ちました。9歳の違いは、あこがれや自己有用感を自覚できる機会となりました。



10/26(金) 市内小学校音楽発表会  
加茂市内7小学校の児童が集まり、加茂文化会館大ホールで音楽発表会をしました。須田小学校からは高学年41名が参加し、これまで練習してきた2部合唱曲「この星に生まれて」を発表してきました。



須田小へのご挨拶